

ナイトウォッチャー施工マニュアル補足事項

●電波通達距離についての注意

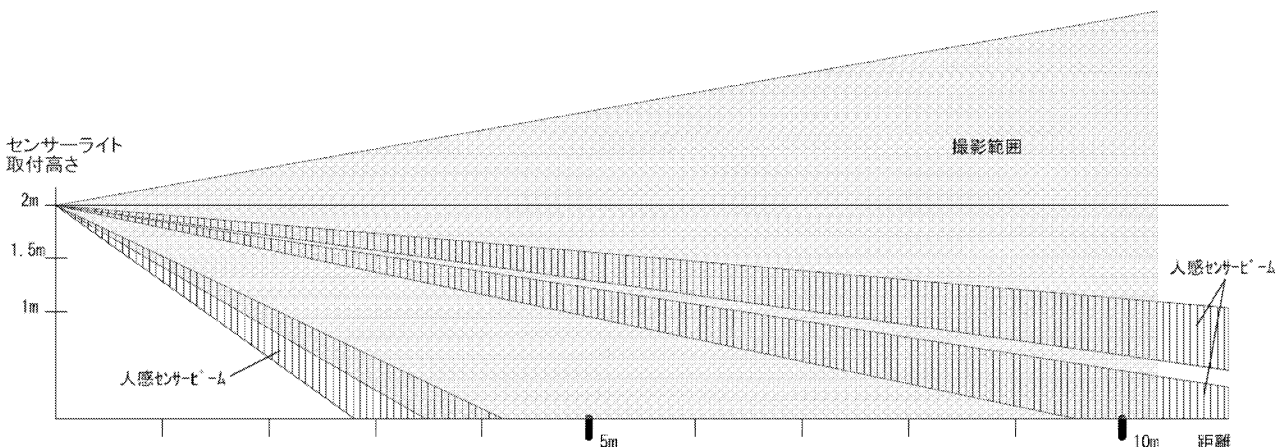
1. 本製品の電波通達距離は見通しで約50mです。
ただし、建材に鉄骨や外壁に金属系サイディングなどを使用している建物、あるいはセンサーライトや、LCDモニターの近くに大きな金属物などがある場所では、電波が反射して通達距離が短くなる場合があります。
このような時はできる限り窓の近くの、電波の受信感度が良くなる場所にLCDモニターを設置してください。
2. センサーライトとLCDモニターの間に極端な高低差（例：1階にセンサーライト、その真上の3階などにLCDモニターを置く）があると、アンテナの特性により電波の通達距離が短くなる場合があります。
このような時もできる限り窓の近くの、電波の受信感度が良くなる場所にLCDモニターを設置してください。
3. 電子レンジやコードレス電話、無線LAN、またはBluetoothなど、「2.4GHz」帯の電波を発する機器の近くにLCDモニターを置かないでください。電波干渉が発生して通達距離が短くなる場合があります。

●センサーライトを取り付ける高さは2mを推奨します

人感センサーの検知距離設定、及びカメラの撮影範囲は、センサーライトを2mの高さに取り付けられた時を基準に設計されています。

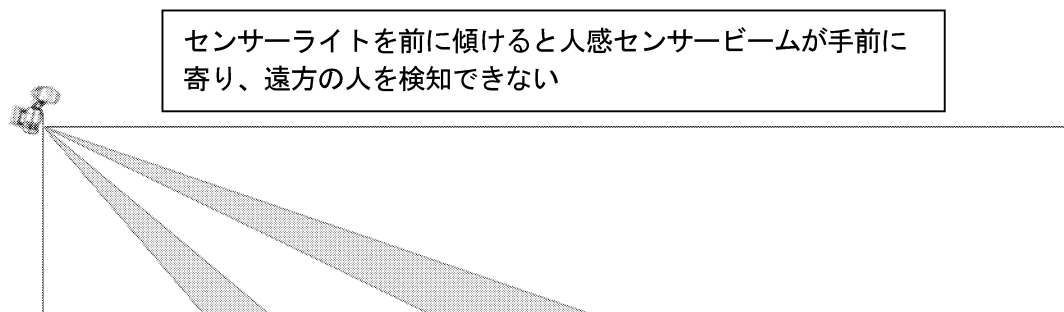
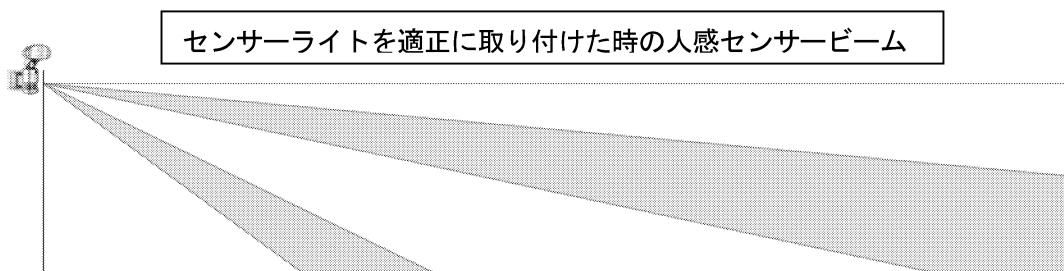
人感センサー、及びカメラの上下角は調節できませんので、センサーライトを推奨取り付け高さ以外の所に設置するとセンサーの検出エリア、及びカメラの撮影エリアが変化することをご承知おきください。

特に2mより高い位置に取り付けた場合には、センサーライト直下の、カメラで撮影できないエリアが拡大しますのでご注意ください。

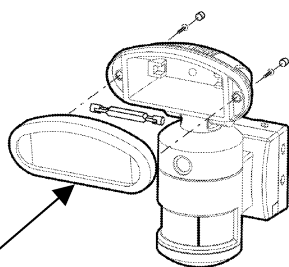


●センサーライト本体の中心軸を垂直に取り付けてください

1. センサーライトを傾けて取り付けると、回転部を制御するモーターの負荷が増し、製品の寿命が短くなることがあります。
2. センサーライトを傾けて取り付けるとセンサーの検出感度や距離、カメラの撮影範囲に大きな狂いが生じますのでご注意ください。
 - a. 左右に傾いた場合には、左右の人感センサーの検出距離に大きな差が出ます。
 - b. 前側に傾いた場合には遠方の人を検出、及び撮影がしにくくなります。また、後ろ側に傾いた場合には近くの人を検出、及び撮影がしにくくなります。



●ガラス押さえ枠の取付けネジは左右均等に締めてください



ガラス押さえ枠

ガラス押さえ枠をネジ止めする際は、最初に2本のネジで枠を軽く仮止めして下さい。その後、枠を本体に押しえつけながら両ネジを均等に少しずつ締め付けていってください。

仮止めをせず1箇所のネジだけ先に一気に締切ってしまうと、ネジ孔のタップをつぶしてしまうことがあります。



企画・発売元

株式会社岩田エレクトリック

〒110-0015 東京都台東区東上野 6-1-7 MSK ビル 5階

電話：03-5830-7812(販売) FAX：03-5830-7817

2009.7 Rev.2